

授業科目	北九州の過去・現在・未来				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10601J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	塚本 美紀							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>1963年に発足した北九州市は工業都市として成長する一方、深刻な環境汚染にも悩まされたが、1960年代から1970年代にかけて実施された公害克服の取り組みを通して、北九州市はモノづくりの街としてだけではなく、「環境モデル都市」として認識されるようになった。その北九州の過去、現在、未来を、講義、ディスカッション、レポートの作成、プレゼンテーションなど様々な角度から学んでいく講座であり、ESD(持続発展教育)についての取り組みを北九州や国内外のさまざまな組織や団体と協力しながら実施している実務家教員が担当する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 北九州の過去・現在・未来について、概要を説明できる。 北九州の抱える課題について、自分が専攻する学問からとらえることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	30	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		40	30		30		100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 北九州の過去・現在・未来について、概要を説明できる。 北九州の抱える課題について、自分が専攻する学問からとらえ、説明することができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 北九州の過去・現在・未来について、概要を理解できる。 北九州の抱える課題について、自分が専攻する学問からとらえることができる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	北九州の現在(1) 北九州の現在の姿の概要について学ぶ。			講義		復習: 学んだことについて振り返る。		30

2	北九州の現在(2) それぞれの区の特徴について学ぶ。	講義 演習	予習: 資料を読む。 復習: 学んだことを振り返る。	60
3	北九州の女性の歴史(1)(外部講師) 北九州の女性の歴史の概要について学ぶ。	講義	復習: 学んだことについて振り返る。	30
4	北九州の女性の歴史(2) 過去100年の新聞記事から北九州の女性の歴史について学ぶ。	講義 演習	予習: 資料を読む。 復習: 学んだことを振り返る。	60
5	北九州とSDGs(1)(外部講師) 北九州とSDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)について学ぶ。	講義	復習: 学んだことについて振り返る。	30
6	北九州とSDGs(2) 地域のさまざまなSDGsの活動について学び、自分たちでできることについて考える。	講義 演習	予習: 資料を読む。 復習: 学んだことを振り返る。	60
7	発表 SDGsの17の目標の中から、自分の専攻分野に関するものを選び、その目標を達成するための方策についてグループ内で発表する。	演習	予習: 発表の準備。 復習: 学んだことを振り返る。	120
8	発表(2) SDGsの17の目標の中から、自分の専攻分野に関するものを選び、その目標を達成するための方策についてグループ内で発表する。	演習	予習: 発表の準備。 復習: 学んだことを振り返る。	120
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初年次セミナー等で学んだ大学での学びの基礎。			
テキスト	適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テレビのニュースや新聞記事に注意を払うと同時に、街の様子なども観察し、北九州の過去、現在、未来について考えましょう。			
達成度評価に関するコメント	レポート、発表、レポート以外の提出物については、授業中に説明する。			

